



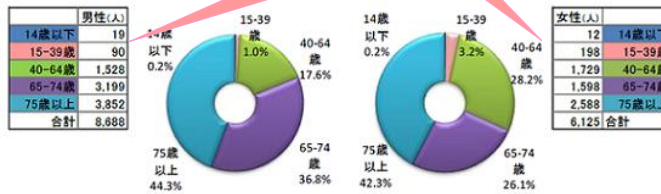
|          | 主なサービス内容及助成額 |    |    |    |                     | その他のサービス内容 |     |              |     | 支払い方法     |
|----------|--------------|----|----|----|---------------------|------------|-----|--------------|-----|-----------|
|          | 福祉用具貸与       | 訪問 | 入浴 | 介護 | 助成割合                | 住宅<br>改修   | 意見書 | ケアマネ<br>ジメント | 移住費 | 委任払い可     |
| 市単独      | 茨城県          | ○  | ○  | ○  | 5割                  |            |     |              |     | 償還払い      |
|          | 和歌山県         | ○  | ○  | ○  |                     |            |     |              |     | 償還払い      |
|          | 佐賀県          | ○  | ○  | ○  |                     |            |     |              |     | 償還払い      |
|          | 兵庫県          | ○  | ○  | ○  |                     |            |     |              |     | 償還払い      |
|          | 鹿児島県         | ○  | ○  | ○  |                     |            |     |              |     | 償還払い      |
| 県と市町村の協働 | (鹿児島市)       | ○  | ○  | ○  | 9割                  | ○          | ○   |              | ○   | ○         |
|          | 静岡県          | ○  | ○  | ○  |                     |            |     |              |     | ○         |
|          | 愛媛県          | ○  | ○  | ○  |                     |            |     |              |     | ○         |
|          | 福岡県          | ○  | ○  | ○  |                     |            |     |              |     | 久留米市のみの適用 |
|          | 横浜市          | ○  | ○  | ○  |                     |            |     |              |     | 償還払い      |
|          | 名古屋市         | ○  | ○  | ○  |                     | ○          |     |              |     | 償還払い      |
| 市単独      | さいたま市        | ○  | ○  | ○  | 5万～8万/月が大半          |            | ○   |              |     | 償還払い      |
|          | 浦安市          | ○  | ○  | ○  |                     |            |     |              | ○   | 償還払い      |
|          | 山口市          | ○  | ○  | ○  |                     |            |     |              |     | 償還払い      |
|          | 岸和田市         | ○  | ○  | ○  |                     |            |     |              |     | ○         |
|          | 宇部市          | ○  | ○  | ○  |                     |            |     |              |     | ○         |
|          | 鎌倉市          | ○  | ○  | ○  |                     |            |     |              |     | 償還払い      |
|          | 和泉市          | ○  | ○  | ○  |                     |            |     |              |     | 償還払い      |
|          | 宇都宮市         | ○  | ○  | ○  |                     |            |     | ○            |     | 償還払い      |
|          |              |    |    |    | 5割                  |            |     | ○            |     | 償還払い      |
| 他の県や市町村  |              |    |    |    | 介護保険に相当するサービスは存在しない |            |     |              |     |           |

表1 AYA世代を対象とする自治体独自の在宅療養支援事業(2021年5月時点)

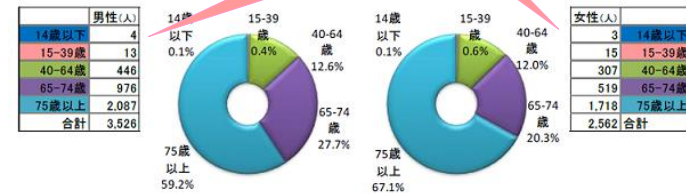


**自己負担：利用料の1割**

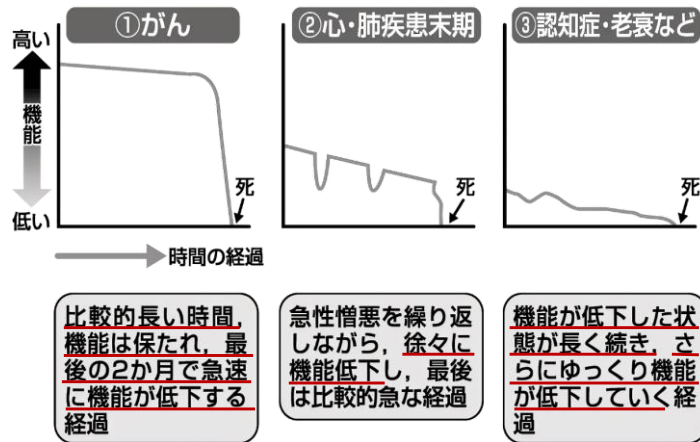
39歳以下  
319人



39歲以下  
35人



## 死に至る3つのパターン



**ポイント**  
がん患者は、  
急速に機能が低下する

★「昨日できたことが今日ではできなくなる。」

こんな方を担当したら、  
ケアマネジャーとしてどう動きますか？

ハグの言い訳  
「だから、無茶ぶりをするので…すみません」

## AYA世代のがんについて

- ・ AYA世代とは、Adolescent and Young Adult（思春期・若年成人）の頭文字をとったもので、主に、思春期（15歳～）から30歳代までの世代を指す。
- ・ 日本では、**毎年約2万人のAYA世代**が、がんを発症すると推定されている。AYA世代でがんを発症する人は、**1年間でがんを発症する人100人のうち2人程度**。年代別にみると、15～19歳が約900人、20歳代は約4,200人、30歳代は約16,300人（2017年）。

－がん情報サービス－

## 希少がんの発症が多く見られるAYA世代

～ がんの種類は、年代によって違いがある。～

〈15～19歳〉

1位白血病、2位胚細胞腫瘍・性腺腫瘍、  
3位リンパ腫、4位脳腫瘍、5位骨腫瘍

〈20～29歳〉

1位胚細胞腫瘍・性腺腫瘍、2位甲状腺がん、  
3位白血病、4位リンパ腫、5位子宮頸がん

〈30～39歳〉

1位女性乳がん、2位子宮頸がん、3位胚細胞腫瘍・  
性腺腫瘍、4位甲状腺がん、5位大腸がん

－がん情報サービス－

**ポイント****異性に対する恥ずかしさ**

★ある程度、病気のこと、身体のことを相談するには、同性のほうが話しやすい？

★利用者と同性がいいのか、介護者と同性がいいのか

利用者や介護者に聞く気づきが必要

**ポイント****予後を伝えることで今後の費用の検討**

- ・在宅医療の携わる期間は、およそ平均1か月
  - ・若い方は、ギリギリまで頑張る方が多い
- 要望を聞くことができれば、スピーディな対応を。

**ポイント****ダブルケアしている介護者のケア**

★ヘルパー導入目的の多様化

- ・介護者が本人の介護に集中できるように。
- ・介護者の話し相手として。

生活支援、身体介護という手段を使って、ヘルパーはどんな目的のために介入するのか、そのことの明確化

## 若年がん患者在宅療養支援事業 ～実際に利用して～

## “AYA” 特有の悩みや課題

- 周囲から孤立したように感じる悩み
- 外見の変化  
治療に用いる抗がん剤の副作用は、見た目に大きな影響を及ぼす。例えば髪が抜けたり、肌が黒ずんだりする。  
男女を問わず、これらの外見の変化をきっかけに、日常生活や対人関係に対して臆病になってしまうケースがある。
- 教育・就労の問題  
多くは、学校に通っていたり、仕事をしていたりする年代
- 経済的な問題  
若年層では保険に加入していない方が多い。  
養育費や住宅ローンを抱えがちで、自宅で療養を続けるには経済的負担が重い。
- 治療の継続など今後の意思決定支援

## ケアマネジャーの方へお願い

- 目的は、**どんな年代であっても**住み慣れた環境で家族と過ごしてもらうのを後押しすること。
- 対象人数は、少ないかもしれないが、目の前の**一人の方のために、一つの家族のために提供されるサービス**である。
- 自治体間での問題意識の差が大きい。希望する療養が**地元で**実現できるようにAYA世代に支援の手を差し伸べてほしい。